

春日市公私連携型保育所の業務実績評価【対象年度:令和5年度】

1 基本情報

施設名	春日白水保育園
公私連携保育法人	社会福祉法人 春日福祉会
担当所管	こども未来課 保育担当

2 施設情報(休館など)

平成28年4月1日 指定管理から公私連携型保育所に移行 園舎は法人が建設平成29年4月1日供用開始
--

3 利用者数

指定期間	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
年 度	3年度	4年度	5年度	64年度	7年度
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比
利用者数 合計	182人	159人	87%	157人	99%
施設内訳				0%	#DIV/0!

4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	・適正に実施されているか ・衛生管理は適切か			
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か			
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不審者対策は適切か			
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か			
運營業務	運営状況	・公共性・公平性を確保しているか ・協定書・事業計画等どおり実施しているか ・ホームページや園だより等に掲載しているか	・行事計画、事業計画・実績報告及び現地確認 ・延長保育、障害児保育等の実施記録 ・市と連携した適正な入所手続き状況の把握 ・広報活動や情報提供等の実施状況の把握	○	・ホームページに運営状況、自己評価等を掲載し情報公開している。
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取組みや保育方針の報告	◎	・職員同士の連携、協力体制の構築、見栄や体裁に縛られず子どもの主体性を高める行事を実施することに心がけるなど、子どもたちが心身共に満たされ豊かに生きていくことを支える環境や経験をさせることが保育サービスと捉え、職員間で共通認識を持ち日々保育に努めている。
	利用状況の把握	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取組みや保育方針の報告	・保育所運営費請求書、延長保育利用状況報告書及び現地確認 ・通常保育や延長・障害児保育等利用者数の把握、児童欠席簿の確認	○	
状経況理	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・資金収支予算書・決算書及び現地確認 ・帳票の管理、収支状況報告 ・予算と決算の比較 ・利用者当たりの管理コスト(支出/利用者数) ・保育料等の比率(利用料金/収入)	○	・県の指導監査においても良好であるとの評価である。
運営体	人員の適正な管理	・人員の適正な配置(保育所最低基準)か ・継続的なレベルの維持に努めているか	・運営費請求書・実績報告書(職員名簿)及び現地確認 ・人員の配置状況・勤務体系 ・指導・研修体制 ・知識・経験を有する人の配備	○	
	利用者の苦情・要望等の対応体制	・苦情等への対応は適切か	・報告書提示及び現地確認 ・苦情・要望への対応体制(第三者委員会)の有無	○	・苦情解決のための体制は整備されている。

IT 制	危機管理体制の確保	・事故・災害発生時の対応はできているか	・防災(消防)計画、避難訓練記録及び現地確認 ・緊急連絡やマニュアル等の作成	◎	・毎月の火災訓練、年2回の地震、水害訓練、年4回の不審者訓練を実施 ・防犯カメラを施設内、園庭、駐車場計12ヶ所設置 ・不審者対策として警察直通の非常ボタンを設置
	関係機関・地域との連携体制	・連携を図るための組織体制を整えているか ・保護者や地域と一体となった利用状況か	・事業報告書及び現地確認 ・定期的な情報交換等の開催実績 ・保護者や地域の子育て支援状況や行事の把握	○	・関係機関とは、連携を図っている。 ・年長児は和太鼓の稽古を行って下白水地区の夏祭りに参加し披露している。7月夏祭り参加 ・園行事への案内や園庭開放、敬老の集いに参加するなど地域との交流を行っている。
その他	福岡県指導監査状況	・指導監査指摘事項の改善状況等は適切か	・監査資料に基づく各項目の状況及び現地確認	○	・県の指導監査においても良好であるとの評価である。
	保健衛生管理体制	・保健衛生管理体制は適切	・事業計画・保健だより及び現地確認 ・乳幼児や保育所職員の健康診断の実施状況 ・感染症や食中毒予防等の助言・指導状況	○	

5 加点項目への評価

評価内容	特記事項
協定書等での規定はないが、自主的に取り組まれているもの	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所園庭で夏野菜、冬野菜と四季に応じた菜園活動を行い、子どもたちに野菜を見る、触れる、におう、名前を知るといった学びの場を与えたり、梅干しづくりの体験など、積極的に食育の取組を行っている。 ・腸内環境を整え免疫力を上げる食材を給食に取り入れている。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組んでいる。

6 総合評価

評価	コメント
A 優れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時にすぐに情報の伝達ができるための外用のスピーカーの設置、火災発生や不審者対応等のための非常ボタンや防犯ビデオの設置など、安全対策に余念がないことは、高く評価できる。 ・積極的な食育の取組や給食の食材のこだわりは高く評価できる。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組んでいる。